

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名               |    | 公表日                                                                                 |    |     |                                                                                 |                             |
|--------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 槽屋子ども発達センター・さくら保育園 |    | 2025年4月22日                                                                          |    |     |                                                                                 |                             |
|                    |    | チェック項目                                                                              | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など                                                       | 課題や改善すべき点                   |
| 環境・整備運営            | 1  | 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。                                                            | ○  |     | 対象児の言動、支援者、周囲の対応・環境調整を時系列に整理して記録できる記録用紙を準備している。                                 |                             |
|                    | 2  | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                            |    | ○   | ニーズは高いがすべてに対応できていない。                                                            | 保育所等訪問支援に対応できる職員体制整備を行っている。 |
| 業務改善               | 3  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                      | ○  |     |                                                                                 |                             |
|                    | 4  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                | ○  |     |                                                                                 |                             |
|                    | 5  | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                             | ○  |     | 年に1回以上センター長と職員の個別面談を設けることで、業務改善につなげている。                                         |                             |
|                    | 6  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                    | ○  |     | 地域における障害児支援の中核的な役割を担う機関として、第三者にも評価を受けている。                                       |                             |
|                    | 7  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                   | ○  |     | 定期的にテーマごとの職員研修、事例検討を実施している。また、地域の自立支援協議会等が実施する研修にも積極的に参加している。                   |                             |
| 適切な支援の提供           | 8  | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。                | ○  |     | 相談支援事業所からの相談、保護者との面接、本児の行動観察等から得られた情報を分析し、保育所等訪問支援計画を作成している。                    |                             |
|                    | 9  | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | ○  |     | 児童発達支援管理責任者だけでなく、特に相談支援専門員との共通理解を図り、チーム全体がこどもの最善の利益を考慮できるよう意識している。              |                             |
|                    | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。                            | ○  |     | 訪問先施設の担当者、その上司に趣旨を伝え、先方の意向も汲んだ上で支援計画を作成している。                                    |                             |
|                    | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                               | ○  |     |                                                                                 |                             |
|                    | 12 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 |    | ○   | 他機関で行われた標準化されたアセスメントの結果や行動観察から得られた情報は活用しているが、標準化されたアセスメントツールの自主事業での活用は今後の課題である。 | 今後の活用については検討していく。           |
|                    | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。              | ○  |     | 保育所等訪問支援ガイドラインの内容を踏まえて支援内容を設定している。                                              |                             |
|                    | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                               | ○  |     |                                                                                 |                             |
|                    | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                     | ○  |     |                                                                                 |                             |
|                    | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                              | ○  |     |                                                                                 |                             |
|                    | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。                                           | ○  |     | 訪問先施設の担当者、その上席者との丁寧なコミュニケーションを心がけ、相手の理念や支援方法を尊重している。                            |                             |
|                    | 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。                                              | ○  |     |                                                                                 |                             |
|                    | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                   | ○  |     | 保護者や訪問先施設の意向等をもとに支援計画の見直しの必要性を判断している。                                           |                             |

|              |    |                                                                                          |   |   |                                                                                         |                                |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                 | ○ |   | 訪問支援の担当者、または児発管が参画するようにしている。                                                            |                                |
|              | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                               | ○ |   | 地域の障害児支援施設、幼稚園、保育園との地域研修会の実施、サービス担当者会議、訪問、地域協議会等を通して密な連携を図っている。                         |                                |
|              | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                   | ○ |   | 主に文書を通して、必要な時には訪問会議を通して相互理解を図っている。                                                      |                                |
|              | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。                                        |   | ○ | 外部講師から助言、職員の外部研修の参加等取り組んでいるが十分ではない。                                                     | 施設内研修以外にも外部研修への参加の機会を増やしていく。   |
|              | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                | ○ |   | 協議会(子ども部会準備会)に積極的に参加し、コアメンバーとして部会運営にも協力している。                                            |                                |
|              | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。                                          | ○ |   | 保護者だけでなく、日常的に子どもの状況を支え合っている児童発達支援事業、放課後等デイサービスの児童発達支援管理責任者、相談支援事業所の相談支援専門員との情報共有に努めている。 |                                |
|              | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。             |   | ○ | 相談があれば必要な情報提供を行っているが十分ではない。                                                             | 家族参加型の行事や勉強会等の機会を増やしていく。       |
| 保護者等への説明等    | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                             | ○ |   |                                                                                         |                                |
|              | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。                                                 | ○ |   | 訪問先の施設の担当者、上席者に対し資料等も使って趣旨説明、訪問支援の目的を説明している。                                            |                                |
|              | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | ○ |   | 個別面談、サービス担当者会議を通してこどもや家族の意向確認を行っている。その際は利用者の意志尊重、こどもの最善の利益を考慮している。                      |                                |
|              | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。                                   | ○ |   |                                                                                         |                                |
|              | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。                                          | ○ |   |                                                                                         |                                |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。 |   | ○ | 児童発達支援事業利用児の保護者にはグループでの家族相談会の機会等を設けているが放課後等デイサービス、保育所等訪問支援利用児の保護者には機会の提供ができていない。        | 保護者やきょうだい参加型のイベントや相談会等を検討していく。 |
|              | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。             | ○ |   | 必要な時には小児科医、心理士等の相談対応もできるような体制を整えている。                                                    |                                |
|              | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                      |   | ○ | HPIは活用しているが、その他のツールを活用できていないため今後の課題である。                                                 |                                |
| 訪問先施設への説明等   | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                      | ○ |   |                                                                                         |                                |
|              | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                    | ○ |   | 必要に応じてLINEやメールも活用し情報の伝達を行っている。                                                          |                                |
|              | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。                                           | ○ |   |                                                                                         |                                |
|              | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。                                                      | ○ |   | 訪問支援実施後、毎回後日意見交換のためのカンファレンスを実施した。                                                       |                                |
|              | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。                                                    | ○ |   |                                                                                         |                                |
|              | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                      | ○ |   | 相互に守秘義務があることを確認のもと、支援に必要な情報のみをやりとりするよう配慮している。                                           |                                |

|         |    |                                                                                 |   |  |                                                                                        |  |
|---------|----|---------------------------------------------------------------------------------|---|--|----------------------------------------------------------------------------------------|--|
|         | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。                                      | ○ |  |                                                                                        |  |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ |  | 各マニュアルを策定し職員には周知している。また、適宜閲覧できるようにしている。保護者には適宜お便りで周知したり、通園で一緒に訓練を行ったりする中で周知できるよう努めている。 |  |
|         | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | ○ |  | 安全計画を策定し、安全管理に必要な情報の説明、定期的な点検等を行い、通園で                                                  |  |
|         | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                         | ○ |  | ヒヤリハットに関わる事案は適宜会議などで周知し、全ての事案の記録を職員が誰でも閲覧できるようになっている。                                  |  |
|         | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                            | ○ |  | 行政機関等が実施する研修に加え、内部でも全職員が受講する研修を行っている。また、虐待に関する職員アンケート(セルフチェック)を実施している。                 |  |
|         | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。    | ○ |  | 身体拘束については、計画やモニタリングに関する会議にて十分に審議している。予期せぬ事故やトラブルに備えて、契約や計画の説明時などにどの保護者にも丁寧に説明を行っている。   |  |